

第300回 益田掃除に学ぶ会 お掃除通信

開催場所学校 安田小学校 校長 田中茂秋  
参加者数 12名 教頭 福原 英忠

<b>1、代表世話人挨拶 山崎純</b>
皆さまのお蔭で300回を迎えることができました。今日は大変
寒くなりましたが、第1回の時も運動公園のトイレ掃除をしました
寒くて雪が降る中、電気がつかなくて、車のライトをつけて掃除を
したことを思い出しています。今日はお集まりを頂いて、校長先生
教頭先生にもご参加いただき、気合を入れてやりたいと思います。
明日、子供さん達がトイレがきれいになって変わったなと言って
頂けるようにやりましょう。本当に皆さんにはこの会を育てて
頂いて感謝しております。
<b>2、体験感想発表</b>
<b>・佐々木 仁資さん(萩市)</b>
昨日夜に岡崎さんに参加できないとお断りしましたが、今朝に
なって、やっぱり行かないといけなそうと思ひ出かきました
大便器を担当しましたが、目が見えづらくて汚れが見えにくかった
のですが、中部さんにも見て頂いたりして綺麗になりました
<b>・美原 晋大さん(萩市)</b>
男子便器を掃除しましたが、汚れが落ちなくて悔やんでおります
<b>・山崎 純さん(益田市・キヌヤ)</b>
300回も無事に終わってほんとうにありがとうございました。
校長先生、教頭先生またご遠方からお出かけいただき感謝して
おります。本当に25年よくやったな一と思っております。16年間
代表世話人を務めました、ひとえにみなさんのお蔭です
300回で終わるような話をしておりましたが、次月からも続けられる
限り続けます。市内の小中学校が綺麗になればと思っております
皆さまも是非引き続きご参加をお願いします。
<b>・田村 勝則さん(益田市・日の丸)</b>
怠け者ですから掃除も参加したりしなかったりで申し訳ありません
今74歳ですが、人生100年まで26年頑張ります

<b>2、体験感想発表</b>
<b>・福原 英忠さん(安田小学校教頭)</b>
今日はありがとうございました。きれいな環境の中、心も綺麗になり
豊かになります。あそこまで綺麗にすると、子供達も喜びます。
昨年も参加しましたが、手順等も忘れていました
<b>・福原 宗勇さん(益田市瀬田町市職)</b>
私はこの学校を卒業しましたが、その頃の面影は全くありません
我々の頃は給食はなかったので、弁当をもって行っていました、先般
同窓会が有って、当時3名弁当を持ってこない人がいたことを聞いて
驚きました。昼食の間は外を歩いたり、図書室に居たりして時間調整を
していたようです。こんなことが起こらないように給食につもきちんと
進めていかなければと考えております。
<b>・中部 尚樹さん(浜田市・キヌヤ)</b>
お湯があればこんな寒い時はほっとします。トイレは今日もカラーでした
水垢が落ちにくいのですが一生懸命磨きました
<b>・岡本 昇太さん(浜田市・キヌヤ)</b>
洋式の大便器をしました。最近は頻繁に担当していますので外し方になれて
いましたが、今日は金属部品でややこずりました。周りが汚れていて綺麗に
なりました
<b>・中西 秀之さん(周南市)</b>
久しぶりに参加しました。会を継続されると聞いてほっとしています。自分の家も
掃除をしないと住みにくくなるし、生きにくくなります。地域も学校も同じで
教育がスムーズに行われなくなります。掃除は大事ですね。
<b>・田中 茂秋さん(安田小学校校長)</b>
今日はありがとうございました。300回記念を我校でして頂いたこと喜んで
おります。雪の寒い中、皆さんの熱気を感じました。校則が正しく、清く、美しく
ですが、想像以上の掃除で先生、生徒も気づかない所の掃除でした
これからはこのような見方、視点で見て行って指導をしたいと思ひます

<b>4、鎌山秀三郎相談役 一日一語より抜粋</b>
<b>優しさと辛抱強さ</b>
人がこの世を生きていくには、お金や知識や技術などさまざまな力が必要になりますが
一番大切なのは心の力です。たとえお金があっても、技術や知識が優れていても
相手の為を思う優しい心がなければ、それは活かれません。人に対する優しさと
苦難に対する辛抱強さという心の力が身に備わって初めて、全ての物が活かされます。
<b>織土の一日</b>
大日寺発行の「おといれだより」に書いてあった一節を紹介します。
「織土の一日の修業は、深山の千日の修業に勝る」
現実社会で経験する嫌な出来事をじっと辛抱することは、ひとり山奥にこもって千日修行するよりはるかに
尊い修行になるということです。実生活の中で「居て染まらず」という生き方以上の修業はありません。
<b>5、森三先生の教え</b>
<b>一語千鈞より</b>
・英知とは、その人の全知識、全体験が発火して、一瞬ひらめく不可視な閃光といってよい
・真実というものは、一点に焦点を絞ってピッチを上げなければ、発火しにくいものである
・読書は単に知的な楽しみだけであってはならぬ。直接間接にわが生き方のプラスになるものを選びたい
それは単に才能だけで生きた人より、自殺寸前というようなギリギリの逆境を突破して
見事に生き抜いた人のもの方が、はるかに深く心を打つ
・「笑顔に開く天の花」笑顔によって、相手の心の扉が開けたら
・人間晩年になっても仕事を与えられるということは、真にかたじけない極みと思わなければならぬ。
待遇の多少などもちろん問題とすべきではない
<b>6・平澤 興先生語録より</b>
<b>平澤 興 一日一言より</b>
・足立文太郎先生は、井上靖さんなどによく言われたそうであります。「とにかく右往左往、右を見たり左を見たりせずに
やることだ。相撲の呼び出しでも浪花節語りでも左官屋さんでも本当に生涯の心を傾ければ本物になれるが
なかなかそうでなければ本物にはなれん」
・今朝もまた さめて眼も見え 手も動く ああ極楽よ この身このまま